

# 紙芝居「はじまり」「ハートの小さな穴(命の始まり)」

学齢・思春期

## 【目的】

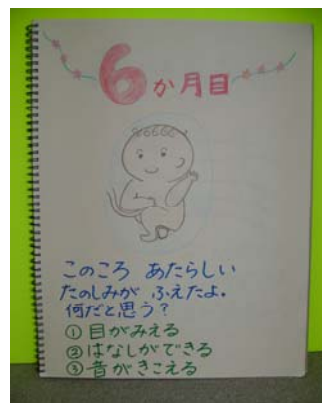
「自分の命もお友だちの命も家族や地域の人などたくさんの人たちに大切にされてきたということ」をこどもたちが気づき、自分自身を好きになり大事にしてくれるために作りました。

【対象】小・中・高校生と保護者

【内容】紙芝居（セリフなし）全部で 21枚

ハート（真ん中に針先大の穴が開いています）

- ・ハートの紙の中心に小さな穴をあけています。それは、命の「はじまり」です。
- ・お母さんのおなかの中で、赤ちゃんはどんな生活をしているのでしょうか。
- ・お母さんや周りの人はどんな気持ちで生まれてくる赤ちゃんを待っているのでしょうか。
- ・みんなが通ってきた命の道をたどる事で、「大事な自分」に子どもも大人もみんなが再認識できると思います。



※貸し出しができます

## 【子どもたちの声】

- ・ハートの小さな穴からこんなに大きくなるんだとビックリしました。
- ・いろんなことを教えてもらって楽しかったです。

## 【中央部地域健康づくり推進員会からのメッセージ】

- ・こどもたちに、お父さん・お母さんも同じ命の道を通ってきたことを話すと、とっても驚かれます。みんな、同じ大切な命を持っていることを伝えることに、ぜひ活用してください。